


市 営 家 中 住 宅 4 号

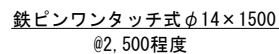
解 体 撤 去 工 事

三 次 市

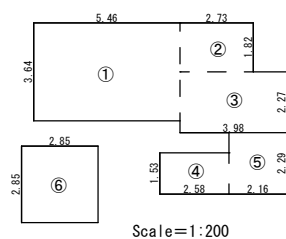
佐伯建築設計事務所

			一級建築士事務所 広島県知事 登録 20(1)第2704号	一級建築士 建設大臣 第223265号	・構造設計 _ _ _ _ _	工事名称 市営家中住宅4号解体撤去工事	図面名称 特記仕様書（1）	縮 尺	
			佐伯建築設計事務所	佐 伯 晃 志 郎	・設備設計 _ _ _ _ _				

SAIKI CAD ARCHITECTURE OFFICE				作成年月日 H30.8				図面番号 A-02_k			
項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項	
Ⅲ 解 体 施 工	②杭、基礎等 (3.9.1～3.9.2)	(1)基礎の解体撤去は、騒音・振動等に配慮して分別解体し、砂利地業・割り石まで行なうこと。 (2)杭の解体・残置させる *解体する(・引き抜き工法・破砕工法・ ) ①杭を残置する場合は、杭の種別・杭径、杭の位置、杭頂部高さ、深さ等の記録を整備し、写真と共に監督員に提出する。 ②残置杭の中、杭の破砕跡は、現場発生の良質土で埋め戻すこと ③残置する杭頭は、キャップ等で被いコンクリートで打替すること。		Ⅴ ア ス ベ ス ト 含 有 建 材 の 除 去 等	①施工調査 (6.1.2) <9.1.1> < >は公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)の該当項目を示す	目録及び設計図書等により、あらかじめ事前に次の事項について施工調査を行い、調査結果をとりまとめて監督員に提出する。 (1)使用部位の確認 (2)種別、厚さ等の確認 (3)使用数量の確認 (4)施工範囲と工事管理区分の確認 ・アスベスト含有分析調査(・不要・必要(内容は下記による)) 分析方法 *JIS A1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による定性分析 分析必要部屋名等( *図示 ) 分析必要箇所( 1箇所)		5	ア ス ベ ス ト 含 有 保 温 材 等 の 除 去 (6.4.1～6.4.5) <9.1.4>	(2)除去工法(6.3.2) *図面による・共通仕様書による 施工場所( ) (3)除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等(6.3.3) ①除去したアスベスト含有吹き付け材等を撤出するまでの間、現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、アスベスト等の保管場所であることの表示を行う。また、当該工事により発生するアスベスト含有吹き付け材等の飛散性アスベストの処分は下記による。 *環境大臣認定の消滅による無害化処理 ・固化化、薬剤による安定化等を行い、耐水性の材料で二重にこん包したものを管理型処分場に埋立なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督員と協議すること。 ②アスベストを廃棄物として排出した時は、その都度、排出量と処理先を監督職員に報告するとともに、産業廃棄物管理票(マニフェスト)の写しを添付した廃棄物処理報告書を提出する。 (4)確認及び後片付け(6.3.4) ①除去作業が終了後、高性能真空掃除機で床等の清掃を行う。 ②監督職員の立会いのうえで、除去及び封じ込め等が十分行われたかを、目視により確認する。 ③養生用のプラスチックシートに付着した粉じんの再飛散を防止するために、シート全面に粉じん飛散抑制剤を散布する。 ④壁面等の養生用のプラスチックシートの撤去は、負圧除じん装置を十分に吸引・ろ過した時点又は粉じん飛散抑制剤吹付け後、沈降した時点で行う。なお、シートは、取り外して粉じん付着面を内側に折りたたみ、プラスチック袋に入れる。 ⑤養生を行っていない足場、仮設材を清掃した後に解体撤出する。 ⑥床養生用プラスチックシートは、粉じん付着面を内側に折りたたみ、プラスチック袋に入れる。 ⑦養生用のプラスチックシート等の廃棄物は、4(1)⑥により処理等を行う。 ⑧後片付け終了後は、高性能真空掃除機で床等の清掃をする。	
	③解体手順 (3.3.1)	解体仕様書解体手順における(1)解体設備は図示又はリストによる。			2	*アスベスト粉じん濃度測定を行い、記録し監督職員に報告する。 測定方法は、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)最新版による。 測定点の取り方 (1)処理作業前 ・処理作業室内(点) ・施工区画周辺又は敷地境界(点) (2)処理作業中 ・処理作業室内(点) *セキュリティゾーン入口(点)・・・空気の流れを確認 *負圧・除じん装置の排出口(点)・・・除じん装置の性能確認 ・施工区画周辺又は敷地境界(点) (3)処理作業後(遮隔シート撤去前) *処理作業室内(点) ・施工区画周辺又は敷地境界(点)					
	④構内舗装等 (3.10.1)	(1)アスファルトコンクリート及びコンクリート等の解体は本工事とし、分別解体する。 (2)樹木の伐採伐根及び移植 *有り(図示による)・無し(移植)・木根の処分含む			③除去工事共通事項 (6.2.1～6.2.7) <9.1.2>	(1)専門工事業者 アスベスト含有建材の除去を直接行う専門工事業者については、工事に相応した技術を有することを証明する資料を監督職員に提出すること。 (2)作業主任者及び特別管理産業廃棄物管理責任者 ①石綿作業主任者技術講習又は平成18年3月以前の特定化学物質作業主任者技能講習を修了した者のうちから、アスベスト作業主任者を選任し、管理させること ②排出事業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理させること。 (ただし、アスベスト含有成形板の処理工事を除く。) (3)除去作業者 アスベスト含有建材の除去に従事する作業者(以下「除去作業者」という。)は、石綿障害予防規則(平成17年厚生労働省令第21号。以下「石綿則」という。)に基づく特別の教育を受けた者とする。また、除去作業者は、一般健康診断、石綿健康診断、じん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常がない者とする。 (4)施工計画書 施工に先立ち、処理工事に伴うアスベスト粉じんの飛散防止対策を盛り込んだ施工計画書を施工調査等の結果に基づき作成し、監督職員の承認を受けること。 (5)表示及び掲示 ①アスベスト作業主任者名と職務内容、関係者以外立入禁止、喫煙・飲食の禁止、アスベスト除去作業中等の表示を行う。 ②アスベストの有害性、取扱い上の注意事項、使用すべき保護具の掲示を行う。 ③「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ(労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制措置、ばく露防止措置等)」を周辺住民の見やすい場所に提示する。 (6)保護具・保護衣 ①作業者は、作業内容に応じた呼吸用保護具、保護めがねを使用するとともにアスベストが付着しにくく、付着したアスベストが容易に除去できる作業衣又は保護衣を着用する。 ②監督職員の現場作業の立入確認のため、保護具、保護衣を一式現場に備える。 (7)官公署その他への手続き ①労働安全衛生法の吹付け石綿除去作業の工事計画届(労働基準監督署) ②「石綿則」第5条第1項の規定による作業届(労働基準監督署) ③大気汚染防止法の特定粉じん排出等作業実施届出(都道府県知事) ④その他、各自治体の条例又は要綱等により義務付けられている届出(特別管理産業廃棄物管理責任者設置報告書等) (8)適用基準等 *「建設・解体工事に伴うアスベスト廃棄物処理に関する技術指針・同解説」					
	⑤整地・埋戻し・盛土 (3.12.1)	(1)解体撤去後の跡地は整地(整地厚10㎝程度)すること。(なお盛土する場合は図示による) ・持ち込み土(山砂の類)・現場発生の良質土・他現場の現場発生良質土・再生コンクリート砂・リサイクルプラントが販売する処理土・砕石 (2)土砂流出の恐れのある部分は、土のう等で処置すること。 (3)表層部分はアスファルト舗装とする。範囲は図示による。				(1)専門工事業者 アスベスト含有建材の除去を直接行う専門工事業者については、工事に相応した技術を有することを証明する資料を監督職員に提出すること。 (2)作業主任者及び特別管理産業廃棄物管理責任者 ①石綿作業主任者技術講習又は平成18年3月以前の特定化学物質作業主任者技能講習を修了した者のうちから、アスベスト作業主任者を選任し、管理させること ②排出事業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理させること。 (ただし、アスベスト含有成形板の処理工事を除く。) (3)除去作業者 アスベスト含有建材の除去に従事する作業者(以下「除去作業者」という。)は、石綿障害予防規則(平成17年厚生労働省令第21号。以下「石綿則」という。)に基づく特別の教育を受けた者とする。また、除去作業者は、一般健康診断、石綿健康診断、じん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常がない者とする。 (4)施工計画書 施工に先立ち、処理工事に伴うアスベスト粉じんの飛散防止対策を盛り込んだ施工計画書を施工調査等の結果に基づき作成し、監督職員の承認を受けること。 (5)表示及び掲示 ①アスベスト作業主任者名と職務内容、関係者以外立入禁止、喫煙・飲食の禁止、アスベスト除去作業中等の表示を行う。 ②アスベストの有害性、取扱い上の注意事項、使用すべき保護具の掲示を行う。 ③「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ(労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制措置、ばく露防止措置等)」を周辺住民の見やすい場所に提示する。 (6)保護具・保護衣 ①作業者は、作業内容に応じた呼吸用保護具、保護めがねを使用するとともにアスベストが付着しにくく、付着したアスベストが容易に除去できる作業衣又は保護衣を着用する。 ②監督職員の現場作業の立入確認のため、保護具、保護衣を一式現場に備える。 (7)官公署その他への手続き ①労働安全衛生法の吹付け石綿除去作業の工事計画届(労働基準監督署) ②「石綿則」第5条第1項の規定による作業届(労働基準監督署) ③大気汚染防止法の特定粉じん排出等作業実施届出(都道府県知事) ④その他、各自治体の条例又は要綱等により義務付けられている届出(特別管理産業廃棄物管理責任者設置報告書等) (8)適用基準等 *「建設・解体工事に伴うアスベスト廃棄物処理に関する技術指針・同解説」					
	⑥建設発生土	*場外指示の場所に処分 *場外搬出適切処理・場外指示の場所に敷き均し ・場内指示の場所に堆積・場内指示の場所に敷き均し  ・当該工事により発生する建設発生土は、次の公の関与する埋立地に搬出するものとする。 搬出場所: _____の公の関与する埋立地 *当該工事により発生する建設発生土は、「建設発生土処分先一覧表」に掲載されている施設のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント又は建設発生土受入れ地(一時たい積を含む)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分にかかる費用は変更しない。 なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の仕様に限り難い場合は、監督員と協議するものとする。									
Ⅳ 特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 等 の 処 理 等	①施工調査 (5.1.2)	(1)特別管理産業廃棄物等とは、特別管理産業廃棄物及び特殊な建設副産物を用い、その種類は次による。これらについて、設計図書及び目録により、施工調査を実施し調査結果を調査に取りまとめ、監督員に提出する。 特別管理産業廃棄物 ①廃石綿等(・PCBを含む機器類・PCB含有シーリング材・廃油・廃酸、廃アルカリ・蛍光灯安定器 特殊な建設副産物 ・フロン、ハロン等の特定物質・放射性物質・六ふっ化硫黄(SF6) ・特定化学物質等 (2)発注者による調査(発注者調査)で判明している特別管理産業廃棄物等は次のとおりであり、適切に処理すること。また、下記については施工調査結果と共に調査結果(調査)に反映させること ・特別管理産業廃棄物 ①廃石綿等( *無・有( ) ) ②PCBを含む機器類( *無・有( ) ) ③PCB含有シーリング( *無・有( ) ) ④廃油( *無・有(熱源の残油(オイルタンク及び配管内容含む)) ) ⑤廃酸、廃アルカリ( *無・有( ) ) ・特殊な建設副産物 ①フロン等の特定物質( *無・有(・パッケージ型空調機と機の冷媒・ルームエアコンディショナーの冷媒 ) ) ②放射性物質( *無・有( ) ) ③六ふっ化硫黄(SF6)( *無・有( ) ) ④特定化学物質等( *無・有( ) )		Ⅵ ア ス ベ ス ト 含 有 成 形 板 の 除 去 (6.5.1～6.5.4) <9.1.5>	ア ス ベ ス ト 含 有 成 形 板 の 除 去 (6.5.1～6.5.4) <9.1.5>	(1)養生等(6.4.2) ①アスベスト含有保温材等の除去に伴い、アスベストの作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて囲う。 ②作業場の隔離(・行う・行わない) ※アスベスト含有保温材等の除去に当たり、振き落し・破砕・切断による方法の場合は、作業場の隔離を行うこと。 ※作業場の隔離を行う場合は、4「アスベスト含有吹き付け材の除去」を適用する。 (2)除去工法(6.4.3) *粉じん飛散抑制剤により湿潤化した後に手ばらし・アスベスト含有吹き付け材の除去による除去物の処理( *密封処理(二重袋梱包)・セメント固化) (3)除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等(6.4.4) 4「アスベスト含有吹き付け材の除去」(3)除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等による(4)確認及び後片付け(6.4.5) 除去作業が終了後、高性能真空掃除機で床等を清掃し、監督員立会いのうえで、除去が十分行われていることを目視により確認する。					
	②特別管理産業廃棄物の処分等 (5.4.1)	処分等の必要な特別管理産業廃棄物は、関係法令に従い適切に処分すること。又、施工調査によって、判明した箇所も、処分方法を監督員と協議し、同様に処分すること。				(1)養生等(6.5.1) アスベスト含有成形板の除去に伴い、アスベストの作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて囲う。 (2)除去工法(6.5.2) ①原則、散水等により湿潤化した後に手ばらしで行い、やむを得ず破壊しなければならない場合は十分に湿潤化した状態で作業を行う。 ②除去したアスベスト含有成形板の集積及び積込みに当たっては、高所より落下しないこと他、粉じんの飛散防止に努める。 ③破砕されたアスベスト含有成形板は、湿潤化のうえ、丈夫なプラスチック袋に入れる等飛散防止の措置を講ずる。 (3)除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等(6.5.3) ①処分は原型のまま埋立処分とし、それにより難い場合は、監督員と協議する。 ②除去したアスベスト含有成形板を現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の廃棄物と分別して保管するものとし、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、保管場所にはアスベスト等の保管場所であることの表示を行う。 ③アスベスト含有成形板の運搬に当たっては、運搬車輛の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。 (4)確認及び後片付け(6.5.4) 除去作業が終了後、高性能真空掃除機で床等を清掃し、監督員立会いのうえで、除去が十分行われていることを目視により確認する。					
	③廃石綿等 (5.4.2)	廃石綿等の処理は、次章Ⅴ「アスベスト含有建材の除去等」による。(有る場合は適用する)				(1)養生等(6.5.1) アスベスト含有成形板の除去に伴い、アスベストの作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用いて囲う。 (2)除去工法(6.5.2) ①原則、散水等により湿潤化した後に手ばらしで行い、やむを得ず破壊しなければならない場合は十分に湿潤化した状態で作業を行う。 ②除去したアスベスト含有成形板の集積及び積込みに当たっては、高所より落下しないこと他、粉じんの飛散防止に努める。 ③破砕されたアスベスト含有成形板は、湿潤化のうえ、丈夫なプラスチック袋に入れる等飛散防止の措置を講ずる。 (3)除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等(6.5.3) ①処分は原型のまま埋立処分とし、それにより難い場合は、監督員と協議する。 ②除去したアスベスト含有成形板を現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の廃棄物と分別して保管するものとし、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、保管場所にはアスベスト等の保管場所であることの表示を行う。 ③アスベスト含有成形板の運搬に当たっては、運搬車輛の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。 (4)確認及び後片付け(6.5.4) 除去作業が終了後、高性能真空掃除機で床等を清掃し、監督員立会いのうえで、除去が十分行われていることを目視により確認する。					
	4PCB含有機器類 (5.4.3)	事前調査対象機器は次による。 ・キュービクル・地下オイルタンク				(1)作業場の隔離、養生等(6.3.1) ①除去に伴いアスベストの作業場から外部への飛散防止及び処理を行わない他の部位への汚染を防止するため、プラスチックシート等を用いて隔離する。 ②隔離した作業場内は、HEPAフィルターを備えた負圧除じん装置により、常時負圧を保つ ③隔離した作業場内への出入りによるアスベスト粉じんの二次汚染を防止するため、前室、洗浄室及び更衣室の3室で構成するセキュリティゾーンを設置する。 ④更衣室には洗眼又はうがいの設備を設ける。ただし、現場内の他の場所にこれら設備を設ける場合はこの限りではない。 ⑤洗浄室にはエアシャワー設備又は温水シャワー設備を設ける。 ⑥除去物の処理(6.3.2) *密封処理(二重袋梱包)・セメント固化					
	5PCB含有シーリング材 (5.4.4)	PCB含有シーリング材の分析調査及び撤去は次による。 ・分析調査箇所数(計箇所)分析調査箇所 *図示 撤去範囲は、次のとおりとし、PCB含有シーリング材はPCBが飛散しないように適当な容器に納め、適切な場所に保管し、調査を作成の上、合わせて監督員に引渡すこと。 (・図示による)									
	⑥特殊な建設副産物の回収及び処分 (7.3.1)	回収及び処分が必要な特殊な建設副産物は、関係法令に従い適切に回収・処分すること。又、施工調査によって判明した箇所も、処分方法を監督員と協議し、同様に処分すること。									

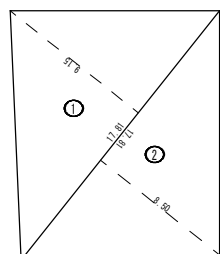


配置図 Scale=1:200



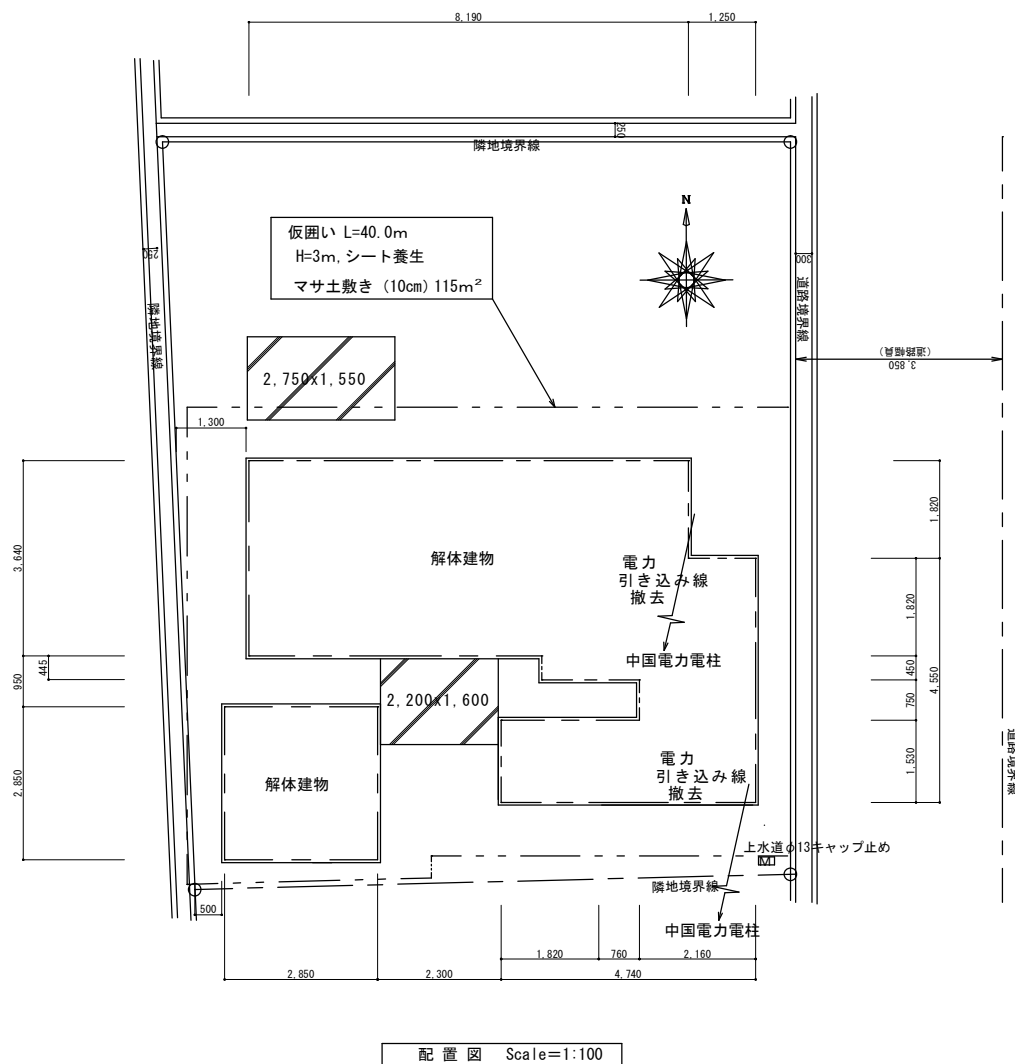
Scale=1:200

①	$5.46 \times 3.64 = 19.874$
②	$2.73 \times 1.82 = 4.969$
③	$3.98 \times 2.27 = 9.035$
④	$2.58 \times 1.53 = 3.947$
⑤	$2.16 \times 2.29 = 4.946$
⑥	$2.85 \times 2.85 = 8.123$
小 計	
延べ床面積	
50.90 (㎡)	



Scale=1:300

番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	17.81	9.15	162.9615	81.48075
2	17.81	8.50	151.3850	75.69250
合 計				157.17325
敷 地 面 積				157.17 m <sup>2</sup>

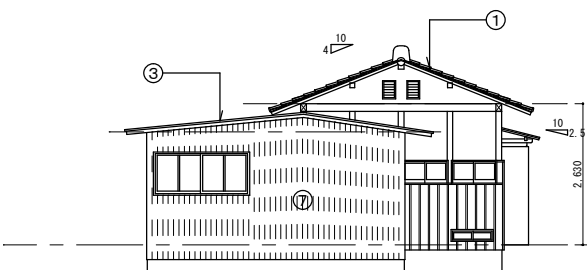


配置図 Scale=1:100

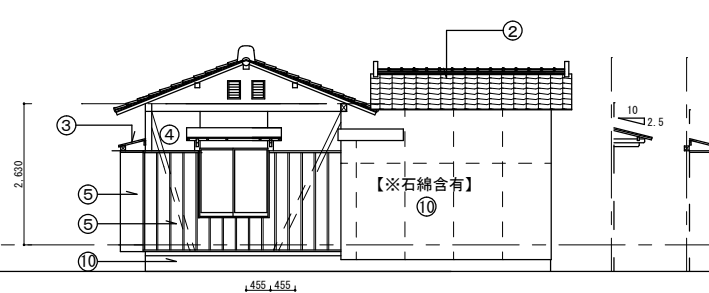
設 計 概 要				一 般 事 項
建 築 名 称	市営家中住宅 4 号解体撤去工事	構 造	木造平屋建て	柱：杉 105×105    構造材：松,米松    造作材：杉
建 築 場 所	広島県三次市三次町	設 備	電気設備 給排水設備 一式	
都 市 計 画 区 域	都市計画区域内			
用 途 地 域	第一種住居地域	外 構 工 事		
道 路 幅 員	3.85 m			特 記 事 項
防 火 地 域	指定無し			
建 物 用 途	住宅	別 途 工 事		既存建物 解体撤去    仮囲設置
建 ベ イ 率	60 %			除草撤去処分
容 積 率	200 %			アスベスト含有分析【セメント瓦】
構 造	木造平屋建て			アスベスト含有建材：臭突、外壁ケイカル板 t＝3.0    (※分析はしていないが、建築年月日・材料の性質より石棉含有とみなす。)

A. 外部仕上表			
屋 根	和瓦、セメント瓦葺 役物一式（棟包み、ケラバ包み、巴 他）勾配 4/10    カラー鉄板瓦棒葺    (雪止め金具共)	軒 天	杉板表し
庇	カラー鉄板葺	樋	軒樋：φ105/2 塩ビ製    壁樋：φ55 落し口    埋設雨水管
外 壁	腰：杉板（厚9 H=1800）壁：漆喰壁（下地：木舞組、土塗り壁）    壁：外壁合板、ケイカル板【※石棉含有】	根 廻 り	モルタル刷毛引き仕上げ
ポ ー チ	コンクリート金鍍押さえ	そ の 他	くみ取り用便槽    臭突【※石棉含有】    電気設備    機械設備
開 口 部	アルミサッシ    木建具    雨戸		

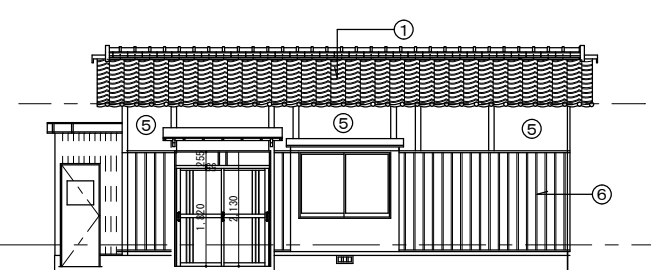
B. 内部仕上表									
階	室 名	床	巾 木	H	壁	天 井	回 り 縁	天井高	備 考
1	玄 関	モルタル金ゴテ押エ	モルタル金ゴテ押エ	－	漆喰壁	竿縁天井 （杉板）	木製	2,850	上り框    地袋(木製 引違い)
	玄 関 ホ ー ル	板 t=12	雑巾摺り	60	漆喰壁	竿縁天井 （杉板）	木製	△	
	和 室 6 帖	タタミ	畳寄せ	55	漆喰壁	竿縁天井 （杉板）	木製	2,430	地袋(模 引違い)
	和 室 4.5 帖	タタミ	畳寄せ	55	漆喰壁	竿縁天井 （杉板）	木製	2,430	
	洋 間	寄木フローア    t＝12	化粧巾木	60	プリント合板    t=4mm	吸音テックス    t=9	木製	2,170	
	は な れ	タタミ（残り2.5帖）	－		プリント合板    t=4mm	吸音テックス    t=9	木製	2,400	
	男 子 便 所	クッションフロアー貼りt=2.5	木製	60	腰：板張り    t=9mm    H=920 壁：漆喰壁	竿縁天井	木製	2,300	小便器    隅付手洗い器
	女 子 便 所	クッションフロアー貼りt=2.5	木製	60	漆喰壁	竿縁天井	木製	2,170	大便器
	炊 事 場	モルタル金ゴテ押エ 板    t=12	木製	－	漆喰壁	板張り	木製	2,470	流し台（タイル仕上）
	勝 手 口	板 t=12	雑巾摺り	－	プリント合板    t=4mm	吸音テックス    t=9	木製	2,470	
	押 込 み （ 洋 間 ）	板 t=12	雑巾摺り	－	ラワン合板 t=4	ラワン合板 t=2.5	木製	2,470	
	押 入	ラワン合板 t=5.5	雑巾摺り	－	ラワン合板 t=4	ラワン合板 t=2.5	木製		
	浴 室	モルタル金ゴテ押エ		－	モルタル金ゴテ押エ	モルタル金ゴテ押エ			



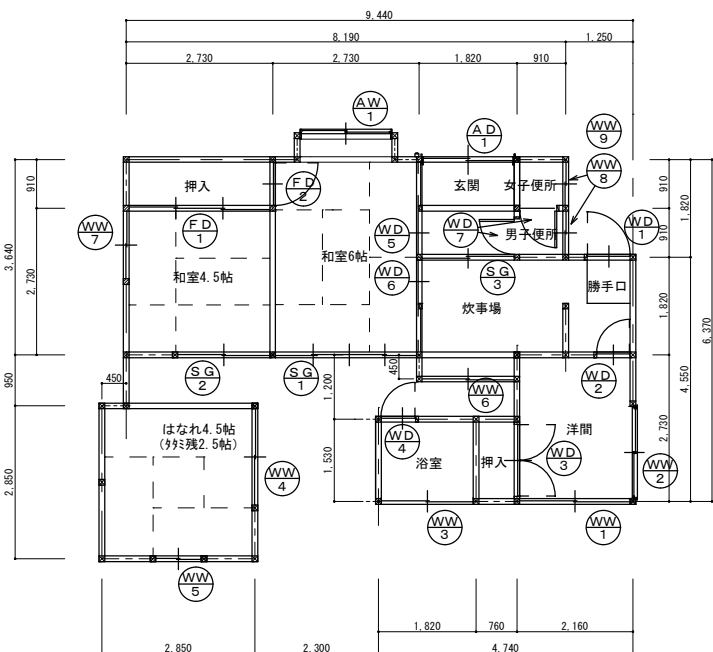
東立面図 Scale=1:100



西立面図 Scale=1:100

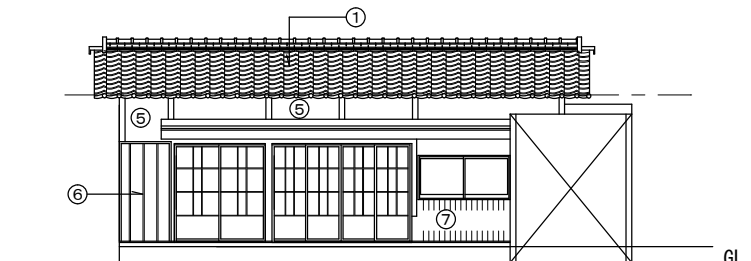


北立面図 Scale=1:100

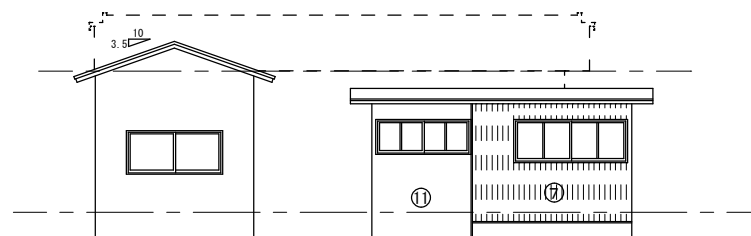


## 外部仕上

符号	仕 上
①	和瓦
②	セメント瓦
③	カラー鉄板瓦棒葺
④	カラー鉄板
⑤	漆喰塗り 木舞
⑥	板張り
⑦	外壁合板
⑧	カラー鉄板サイディング
⑨	軒裏 (杉板あらわし)
⑩	ケイ酸カルシウム板 t=3mm 【※石綿含有】
⑪	モルタル刷毛引き仕上
⑫	コンクリートブロック t=120
⑬	縦樋
⑭	軒樋



南立面図 Scale=1:100



南立面図 Scale=1:100



一級建築士事務所 広島県知事 登録 20(1)第2704号

佐伯建築設計事務所

一級建築士 建設大臣 第23265号

佐伯 晃 志 郎

・構造設計  
・設備設計

工事名称

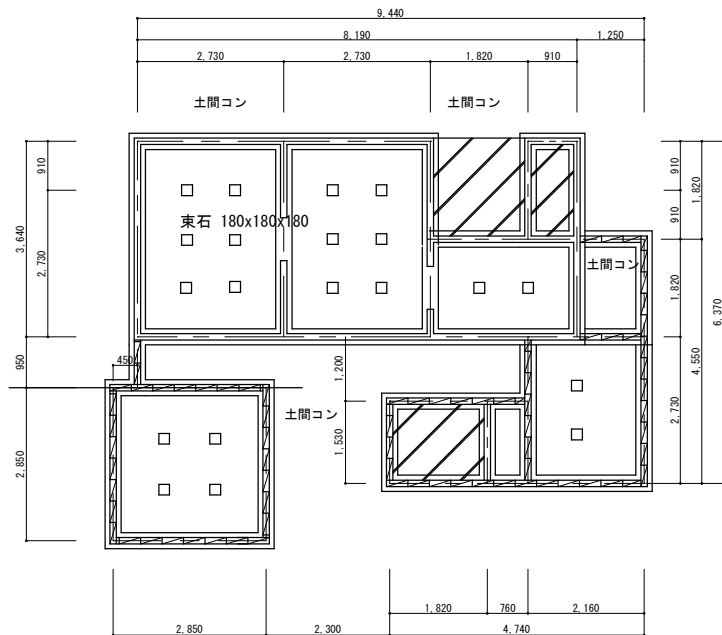
市営家中住宅4号解体撤去工事

図面名称

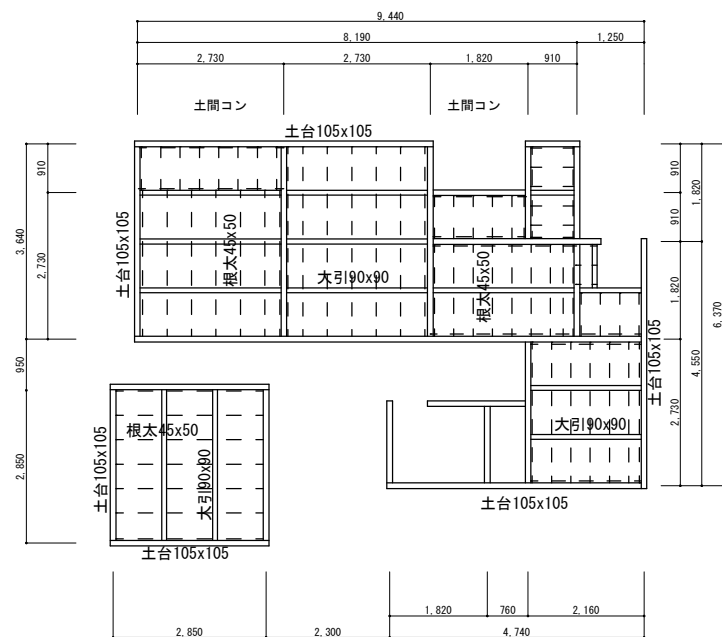
平面図・立面図

縮  
尺

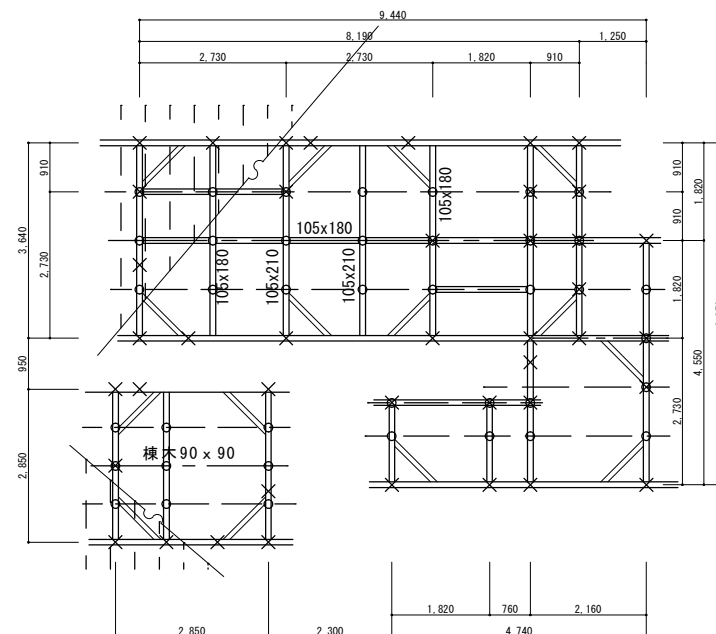
1:100



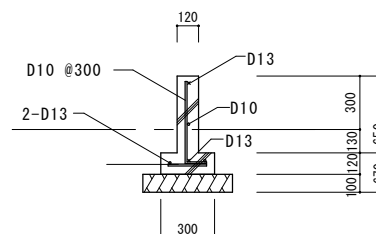
基礎伏せ図 Scale=1:100










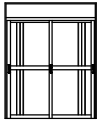

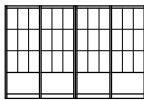
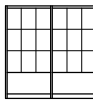
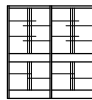


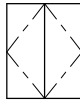













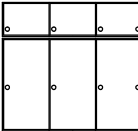

床伏せ図      Scale=1:100



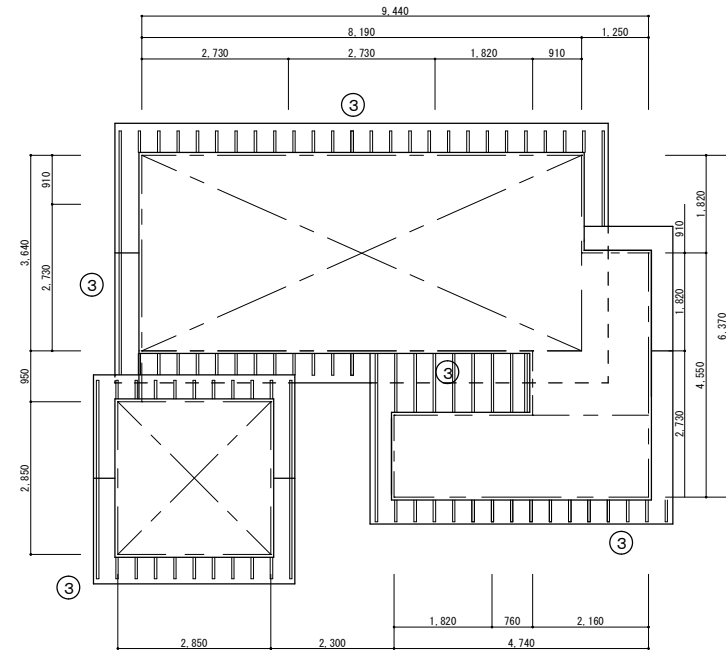
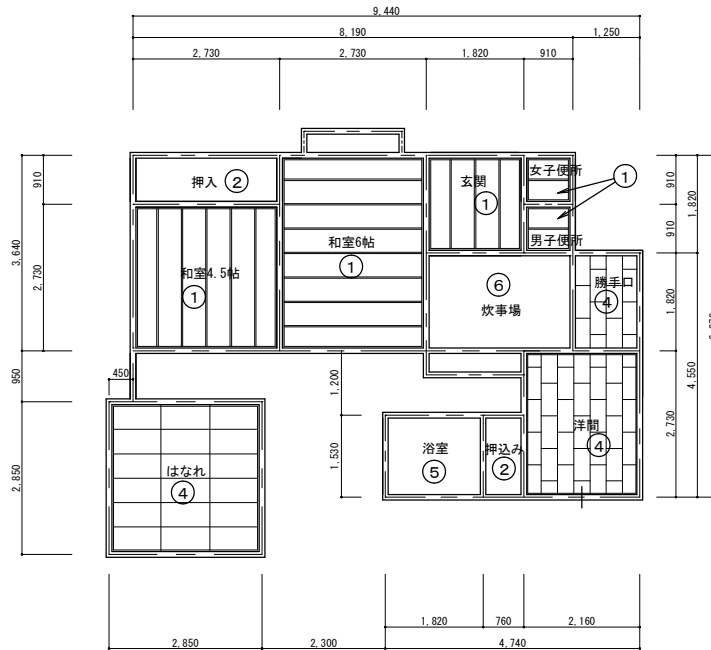
小屋伏せ図 Scale=1:100



凡 例		
	梁 特記なき場合	105 x 150
	下 層 柱 位 置	105 x 105
	小屋束 位 置	90 x 90
	棟 木	90 x 90
	母 屋	90 x 90
	タルキ	45 x 50 @1820/4
	火 打 ち 梁	90 x 90

符 号		見込		<div>AD 1</div> アルミ引違い戸	<div>AW 1</div> アルミ引違い窓	<div>SG 1</div> 4枚引違いガラス障子	<div>SG 2</div> 2枚引違いガラス障子	<div>SG 3</div> 2枚引違いガラス障子	<div>WD 1</div> 片開き戸	<div>WD 2</div> 片開き戸	<div>WD 3</div> 両開き戸																																										
姿 図		<div><div>2,130</div><div>1,820</div><div>55</div><div>255</div><div>1,630</div></div> 		<div><div>1,200</div><div>1,630</div></div> 		<div><div>1,720</div><div>2,620</div></div> 		<div><div>1,720</div><div>1,730</div></div> 		<div><div>1,720</div><div>1,620</div></div> 		<div><div>1,900</div><div>700</div></div> 		<div><div>1,760</div><div>700</div></div> 		<div><div>1,760</div><div>1,400</div></div> 																																					
																		場 所		個 数		玄関		1		出窓		2		和室6帖		1		和室4.5帖		1		玄関		1		勝手口		1		洋間		1		洋間		1	
																		仕 様		アルミ		アルミ		木製		木製		木製		木製 フラッシュ戸		木製 フラッシュ戸		木製 フラッシュ戸																			
																		見付け		33		透明 3m/m		型ガラス		型ガラス		型ガラス		型ガラス 3		33		33																			
																		硝 子		型ガラス		透明 3m/m		型ガラス		型ガラス		型ガラス		型ガラス 3		33		33																			
金 物		標準金物一式		標準金物一式		標準金物一式		標準金物一式		標準金物一式				丁番、引手		丁番、引手																																					
備 考																																																					
符 号		見込		<div>WD 4</div> 片開き戸	<div>WD 5</div> 片引き戸	<div>WD 6</div> 片引き戸	<div>WD 7</div> 片開き戸	<div>WW 1</div> 2枚引違い窓	<div>WW 2</div> 2枚引違い窓	<div>WW 3</div> 2枚引違い窓	<div>WW 4</div> 2枚引違い窓																																										
姿 図		<div><div>1,900</div><div>600</div></div> 		<div><div>1,720</div><div>800</div></div> 		<div><div>1,720</div><div>800</div></div> 		<div><div>1,720</div><div>650</div></div> 		<div><div>750</div><div>2,100</div></div> 		<div><div>750</div><div>1,720</div></div> 		<div><div>600</div><div>1,720</div></div> 		<div><div>1,080</div><div>1,820</div></div> 																																					
																		場 所		個 1数		浴室		1		和室6帖		1		和室6帖		1		便所		2		洋間		1		洋間		1		浴室		1		はなれ		1	
																		仕 様		木製 フラッシュ戸		木製		木製		木製		木製		木製		木製		木製																			
																		見付け		33		33		33		33		33		33		33		33																			
																		硝 子								33		33		33		33		33																			
金 物								丁番、引手		標準金物一式		標準金物一式		標準金物一式		標準金物一式																																					
備 考																																																					
符 号		見込		<div>WW 5</div> 2枚引違い窓	<div>WW 6</div> 2枚引違い窓	<div>WW 7</div> 2枚引違い窓	<div>WW 8</div> 引違い窓	<div>WW 9</div> 引違い窓	<div>FD 1</div> 3枚引違い襖	<div>FD 2</div> 3枚引違い襖																																											
姿 図		<div><div>900</div><div>870</div></div> 		<div><div>750</div><div>1,730</div></div> 		<div><div>1,280</div><div>1,270</div></div> 		<div><div>450</div><div>800</div></div> 		<div><div>180</div><div>800</div></div> 		<div><div>630</div><div>1,720</div><div>2,620</div></div> 		<div><div>1,720</div><div>800</div></div> 																																							
																場 所		個 数		はなれ		1		炊事場		1		和室4.5帖		1		便所		2		便所		1		和室4.5帖		1		和室4.5帖		1							
																仕 様		木製		木製		木製		木製		木製		襖紙		襖紙																							
																見付け		33		33		33		33		33		28		28																							
																硝 子		33		33		33		型ガラス		型ガラス																											
金 物		標準金物一式		標準金物一式		標準金物一式		標準金物一式		標準金物一式		引手		引手																																							
備 考																																																					





天井伏せ図 Scale=1:100

凡	例
①	竿縁天井
②	ラワンベニヤ t=2.5mm
③	軒天 (杉板表し)
④	吸音テックス t=9.0
⑤	モルタル金コテ押エ
⑥	板張り
⑦	ポリエチレン小波板
⑧	カラー鉄板あらわし



一級建築士事務所 広島県知事 登録 20(1)第2704号  
佐伯建築設計事務所

一級建築士 建設大臣 第233265号  
佐伯晃志郎

・構造設計  
・設備設計

工事名称  
市営家中住宅4号解体撤去工事

図面名称  
附近見取り図・配置図

縮尺  
1:100